

英国の生協の過去、現在、そして教訓

公開研究会
CCIT

～コーペラティブ・グループの経営危機をふりかえる～

2017年2月15日（水） 13：00～15：35

みやぎ生活協同組合本部・生協文化会館ウィズ研修室

共催：みやぎ生活協同組合 参加費：無料

生活協同組合（消費協同組合）は、世界のさまざまな地域で展開しています。それらのなかでも英国の動向は、18世紀末ごろからの初期協同組合運動、何よりも1844年の「ロッチデール公正先駆者組合」の創立を経て1863年には「卸売組合」が創設されるなど、その成長と発展は目ざましいものでした。

時を経て、1950年代末にその成長は止まり、長期低落の傾向が見られました。そのようななかで1990年代には「乗っ取り騒動」、さらに新生CGの誕生後は再び成長基調と思われたのも束の間、つい数年前に経営危機に陥ってしまいました。有為転変を経て、いままた再建の道を歩む英国の生協事情の近況はどうなっているでしょうか。

この公開研究会では、ロッチデールからの概説史から今日の現況に至るまでを展開した当研究所刊行の『英国コーペラティブ・グループの経営危機をふりかえる』（生協総研レポート No.81、2016年3月）をもとに、これを執筆した当研究所研究員より報告をいたします。どなたでもご参加いただけます。ただし会場の都合上、早めのお申込みをお願いいたします。

予定プログラム

13：00 開会挨拶（開場 12：30）

13：05 報告①「コーペラティブ・グループとその教訓」佐藤孝一（生協総研）

14：15 休憩

14：25 報告②「ロッチデール公正先駆者組合と協同組合運動の変遷」鈴木 岳（生協総研）

15：30 閉会挨拶（終了 15：35）

佐藤孝一（生協総研研究員）専門分野「海外生協・流通事情」

論考に「海外の小売業と生協の健康への取り組み」、「海外のオンライン食品小売の動向」、「スイス・ミグロ生協の事業戦略」など多数。

鈴木 岳（同研究員・編集長）専門分野「協同組合史・暮らし」

論考に「パリの食品小売業事情とビオコープ」、「魚介料理と日本酒およびブドウ酒との相性を一考する」、「ソウル2014GSEFと4生協店舗の訪問より」など多数。

公益財団法人 生協総合研究所 中村範子・鈴木 行き

FAX : 03-5216-6030 E-mail : ccij@jccu.coop

● 2017年2月15日開催公開研究会参加申込書

団体名			
連絡先	担当者名	担当部署	
	TEL	FAX	E-mail
参加者 氏 名	(所属・役職名)		
	(所属・役職名)		
	(所属・役職名)		

公益財団法人 生協総合研究所 担当：中村範子・鈴木 岳

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 番地 プラザエフ 6F

Tel : 03-5216-6025 Fax : 03-5216-6030

E-mail : ccij@jccu.coop



- 地下鉄 泉中央線
「八乙女駅」より徒歩 15 分